

報道機関各位

文化財課 文化財係

赤穂塩田資料アーカイブ WEB サイト「赤穂の塩づくりの記憶」の公開について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	赤穂塩田資料アーカイブ WEB サイト 「赤穂の塩づくりの記憶 Archive of Ako's SALT」を公開
日時	令和4年6月9日から公開
場所・住所	—
趣旨・目的（PRしたいこと） 赤穂市日本遺産推進協議会では、令和元年から3年にかけて、赤穂の塩づくりに関する歴史史料のデジタル化に取り組み、このたび、その成果としてアーカイブ WEB サイトの公開を開始いたしました。 詳細は別紙を参照ください。	
問い合わせ先	部課係名：赤穂教育委員会文化財課文化財係 担当者名：荒木幸治 電話：0791-43-6962 内線(2326) F A X：0791-43-6895

○添付資料 (・無) ○ホームページへの掲載 (・無) ○議会報告 (有 ・ 無)

別紙

赤穂塩田資料アーカイブ Web サイト

「赤穂の塩づくりの記憶 Archives of Ako' s SALT」の公開について

1 概要

赤穂市日本遺産推進協議会では、令和元年5月に日本遺産認定された「『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂」のストーリーをさらに豊かにするため、令和元年から3年にかけて、赤穂の塩づくりに関する歴史資料のデジタル化に取り組んできました。

このたび、これらの歴史資料をインターネット上で検索できるシステムを構築するとともに、小中学校児童生徒や一般の方が学習できる Web サイト「赤穂の塩づくりの記憶」を公開しました。

2 WEBアドレス

<https://ako-salt.jp>



QRコード

3 実施主体

赤穂市日本遺産推進協議会が公募プロポーザルにより委託した株式会社パスコが制作。

事業の実施に際しては、落合功氏（おちあい・こう／青山学院大学経済学部経済学科教授）、千原義春氏（ちはら・よしはる／同大学院博士課程後期課程）が学識経験者として協力。

4 公開している赤穂塩田資料の概要

本 Web サイト上で公開しているデータは、下記のとおりです。

(1) 公開資料

赤穂東浜関連資料

田淵家文書（主に近世の古文書群、赤穂市指定有形文化財）

赤穂東浜信用購買利用組合文書（近現代の文書群、赤穂市指定有形文化財）

赤穂西浜関連資料

真光寺旧蔵柴原家文書（主に近世の古文書群、赤穂市指定有形文化財）

(株)日本海水旧蔵西浜塩田資料（近現代の文書群、未指定）

上記資料のうち製塩に関するもの

(2) 公開資料点数

写真 5,958 点

絵図・図面 2,107 点

古文書・書類 1,193 点 合計 9,258 点

※これに加え、関連の文化財情報 72 件も掲載

5 WEB サイトの構成

(1) 生徒児童向け「学ぼう！赤穂の塩づくり！」ページ

オリジナルキャラクター「えんむちゃん(日本専売公社赤穂塩務局)」「こはまくん(古
浜：西浜塩田)」「しんはまくん(新浜：東浜塩田)」「さこしワン(坂越湾・坂越廻船)」
が登場し、古代から現代までの赤穂の塩づくりを解説します。

また、自分の住む地区(小中学校区)の塩業遺産を調べるページも用意しています。



(2) 一般向け—調べる 赤穂の塩づくりページ

赤穂の塩づくりの歴史に関する解説を、PDFで読むことができます。

「古代から近世にかけての赤穂塩業」(千原義春)

「近現代における赤穂塩田」(落合功)

「赤穂の塩業資料について」(事務局)

(3) アーカイブ検索ページ

赤穂の塩づくりに関する歴史資料を検索できます。検索は、年代、地域のほか資料種別(古文書、絵図、写真等)などの各項目をアンド検索できるようになっており、検索しやすい配慮をしています。検索された資料で複数ページにわたるものは、PDFにより全ページを閲覧、使用等することができます。

なお、この検索結果は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(WEB上での二次利用に関する著作権表示)を「CCBY」(原作者のクレジットを表示することを条件として、改変はもちろん営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高いCCライセンス)としています。

また、検索ページには「製塩道具用語集」を用意し、『赤穂の製塩用具』(赤穂市教育委員会1989年)に収録された解説を五十音順で調べることができます。

(4) 事業報告・特論ページ

本事業の報告のほか、赤穂の塩づくりに関する学識経験者による特論を、PDFで読むことができます。

「赤穂の塩づくりの記憶－Archives of Ako'SALT－事業報告」(事務局)

「塩専売制直後の赤穂塩業」(落合功)

「赤穂塩田資料からひもとく日露外交関係」(千原義春)

「赤穂田淵家の塩業経営と帳合」(千原義春)

6 WEB サイトの特徴と意義

- (1) 資料検索が可能な塩業資料デジタルアーカイブとしては、全国初。
- (2) 赤穂の塩づくりの歴史を詳細に学習できる。
- (3) オリジナルキャラクターを効果的に使用するなど、小中学校児童生徒が学びやすく工夫した。
- (4) アーカイブデータは、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(インターネット上の著作権ライセンス)CCBY(原作者のクレジットを表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高いライセンス)とした。

7 本WEBサイトの期待する活用について

- (1) 児童生徒の学習サイトとして。
- (2) 日本遺産『『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂』をより知りたい方向けの学習サイトとして。
- (3) 公開資料はほとんどが未調査(未翻刻)であり、学術研究資料として。

赤穂塩田資料 WEB サイト

赤穂の塩づくりの記憶
Archives of Ako's SALT

公開開始!

赤穂の塩づくりの記憶
Archives of Ako's SALT

生徒児童向け 学ぶ | 一般向け 調べる | アーカイブ 検索 | 事業報告 特論



赤穂の塩づくりの記憶
Archives of Ako's SALT



©AKO JAPAN HERITAGE. All rights reserved.
作成：赤穂市日本遺産推進協議会「令和3年度 日本遺産魅力発信推進事業」
電話：0791-43-6839 FAX：0791-46-3400

日本遺産『日本第一』の塩を産したまち 播州赤穂」のストーリーを物語るうえで欠かせない東浜・西浜に関する歴史史料のインターネットデジタルアーカイブが完成しました。

子ども向けの「学ぶ」サイト、より深掘りしたい一般向けの「調べる」サイトに加え、江戸時代から近現代にいたるまでの東浜・西浜に関する古文書、絵図・地図・図面、古写真、書類など約10,000点の史料を公開しています。ぜひご利用ください。

収録史料

【東浜関連史料】

田淵家文書
赤穂東浜信用購買利用組合文書

【西浜関連史料】

真光寺旧蔵柴原家文書
(株)日本海水旧蔵西浜塩田資料

の一部を収録



がんばっていい塩を
たくさん作ってね!

赤穂の塩は
日本一!



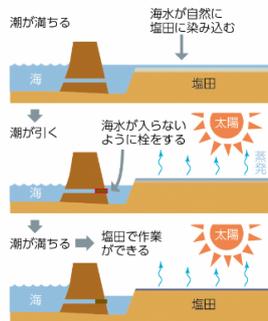
やったぜ!

古式入浜塩田
一室町時代

室町時代に入ると入浜塩田の初期段階、古式入浜塩田が出現します。古式入浜塩田は満潮時に海水につかり、干潮時には陸地になる場所に堤防や浜溜を巡らせて、潮の平満で海水を塩田に取り込むようにした(海水の汲み上げ作業を必要としない)塩田のことです。このような塩田を古式入浜と呼び、平安時代以前に瀬戸内海沿岸で整備したと考えられています。

『播州赤穂郡志』(享保12年版、徳川幕府)によると、1492～1521年頃に、塩原の高山に鹽を晒していた人々が、田舎の耕作や塩田作業に便利ように加蓋庫に移り住んだと伝えられています。人々が集落に移住したのは、赤穂塩田のような内海に隣接した塩田が、千穂川河口の三角洲を利用した古式入浜へ変わったためではないかと推定されています。

なお、当時の赤穂ではほとんどの塩が産産されたのでしようが、15世紀には赤穂産の塩35石を積んだ船が兵庫北願を通過したという記録が残されています(『兵庫北願入船納帳』)。しかし、赤穂の塩を運んだ記録はこの一冊限りで、同じ記録には瀬戸内の他の場所の塩を積んだ船の記述が頻りに出てくることから、室町時代になっても赤穂の塩生産はまだまだ盛んなかっただけではないかと考えられます。



赤穂の塩が「日本第一」になるまで、もう少し!

WEB サイトはこちら

<https://ako-salt.jp>

